

導入事例

スマートスクールセキュリティ

● 目的

数年おきに担当が移動となる学校現場・教育委員会では、ICT担当に配属される人がICTに強い人間とは限らない。人に依存しないセキュリティ対策、担当交代に確実に引継ぎ出来るICT環境を整えたい。

● 導入ソリューション

- スマートスクールセキュリティ

● 導入効果

- システムで管理するのでICTが苦手でも難しくない
- 教育委員会での一括管理により各学校の負担減
- 各学校でどの程度使っているのか、教育委員会しっかり把握できる、活用出来ていない学校へは指導が出来る
- ICT教育支援も受けられる
- 引継ぎも方法も分かりやすく明快

ユーザ・プロフィール

東京都中野区

自治体

※2020年9月時点

東京都中野区

専門知識はなくてOK！人材をシステムでカバー。 学校現場・教育委員会のICT専門知識の人材不足によるセキュリティ運用課題を、クラウド化で解決。

学校現場では「1人1台端末」の整備が進み、コンピュータの基本的操作技術の獲得、プログラミング、情報モラル、情報セキュリティなどの力を身につけるには、ICT環境の充実が必要となっています。今後、児童生徒1人1台端末などを目指す「GIGAスクール構想(※)」の実現が推進されていけば、いっそうのICT環境の充実が必須です。

ますます高度化・複雑化するICT環境におけるセキュリティ対策は、学校にとっての責務。しかし学校現場でも、その各学校のICTとりまとめをする教育委員会においても、ICTの専門知識をもつ人材自体が少ないうえ異動も多く、セキュリティ対策は簡単ではありません。

※GIGAスクール構想:児童生徒1人1台端末の整備および高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想

人に依存せず、セキュリティ対策できないか？

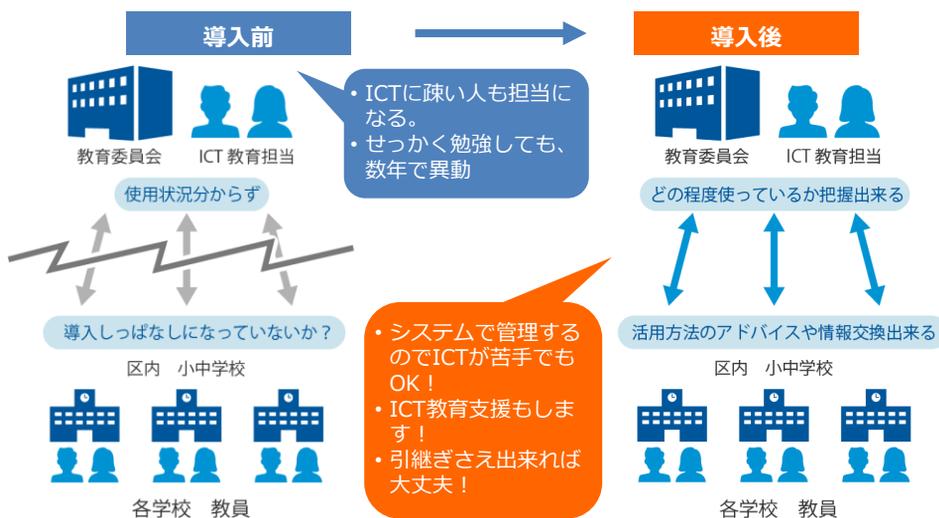
学校現場・教育委員会でICT担当となる者は、ICTに強いとは限らず、疎い人も担当になります。疎いとはいえそれぞれ担当となると一所懸命勉強するのですが、数年で異動してしまいます。うまく引継ぎがなされず導入しっぱなしになってしまうこともありますが、それもよく把握できていません。

「システムによるカバーで課題を解決」することに。

「システムによるカバー」について各社各製品、比較検討する中で、最終的にYE DIGITALのスマートスクールセキュリティ導入へと至りました。

スマートスクールセキュリティ選定理由

- 信頼性が大きい、使い勝手が良い、わかりやすさ



導入後

- システムで管理するのでICTが苦手でも、難しくない
- 教育委員会での一括管理により各学校の負担減
- 各学校でどの程度使っているのか、教育委員会しっかり把握できる、
- 活用出来ていない学校へは指導が出来る
- ICT教育支援も受けられる
- 引継ぎも方法も分かりやすく明快

デジタルで、暮らしに明るい変革を。

YE DIGITAL

ビジネス現場で起こる悩み、IoT/AIが解決！

※記載されている会社名、製品名等は各社の商標、登録商標です。

営業拠点：本社（福岡県北九州市）、三田オフィス（東京都）、新大阪オフィス（大阪府）